

2017年9月19日

「健康経営」の推進について

アフラック（日本における代表者・社長：古出 眞敏）は、2016年12月に「健康経営宣言」を行い、社員が心身ともに健康な生活を送りながら仕事に取り組めるよう、社員の健康増進に積極的に取り組んでいくことを宣言しました。

今般、「健康経営」を推進すべく、アメリカンファミリー生命健康保険組合（理事長：久保 理子）と協力し、以下の施策に取り組んでいきます。

健康経営の施策

1. 社員（全希望者）にウェアラブル端末を無償配布

希望した社員全員にリストバンド型の活動量計端末を配布し、計測した日々の歩数・睡眠・心拍数等を専用アプリに連動させ、健康状態を「見える化」することで、社員の健康意識及び運動習慣の向上を図ります。

2. ウォーキングキャンペーンの実施

「がん征圧月間」である9月から10月にかけて、株式会社日本医療データセンター（代表取締役会長：木村 真也）が提供する健康情報提供サービス「Pep Up（ペップアップ）」を利用したウォーキングキャンペーンを全社員向けに実施します。参加社員数と、参加者が1日当たり一定歩数（7,500歩）を超えて歩いた歩数に応じた金額（5円/100歩）を原資として、全国の小児がんなどの難病で子どもたちが治療している病院に希望の物品（おもちゃや絵本など）を寄贈します。

3. 全社員向け「デジタルヘルス」サービスの提供

8月から全社員を対象にスマートフォンで利用できる「デジタルヘルス」サービス（オンライン医療相談、デジタル医療辞典、活動管理等）を提供しています。これにより、社員は健康や疾病に関する情報を容易に取得・相談できるようになりました。本サービスに対する社員からのフィードバックを踏まえて、お客様の「健康の維持・増進に繋がる行動」を支援する新たな商品・サービスの検討を進めていきます。